

70期 環境レポート



FUJITA

株式会社新潟藤田組

1. 環境方針

株式会社新潟藤田組 環境方針

株式会社新潟藤田組は、エネルギーの効率的運用による環境負荷の低減と、産業廃棄物の排出を抑え、建設業としての事業活動を通じて以下の環境方針に基づき、新潟地域の環境対策に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献できる企業を目指します。

1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防と環境保護を推進するとともに、環境対策活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 資源のリサイクルや節約
 - (3) 環境美化活動の実施
 - (4) 法令遵守
4. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員に周知します。

上記の方針達成の為に目的を設定し、定期的に見直し、環境活動を推進します。

2017年3月31日
株式会社 新潟藤田組
取締役社長 藤田直也

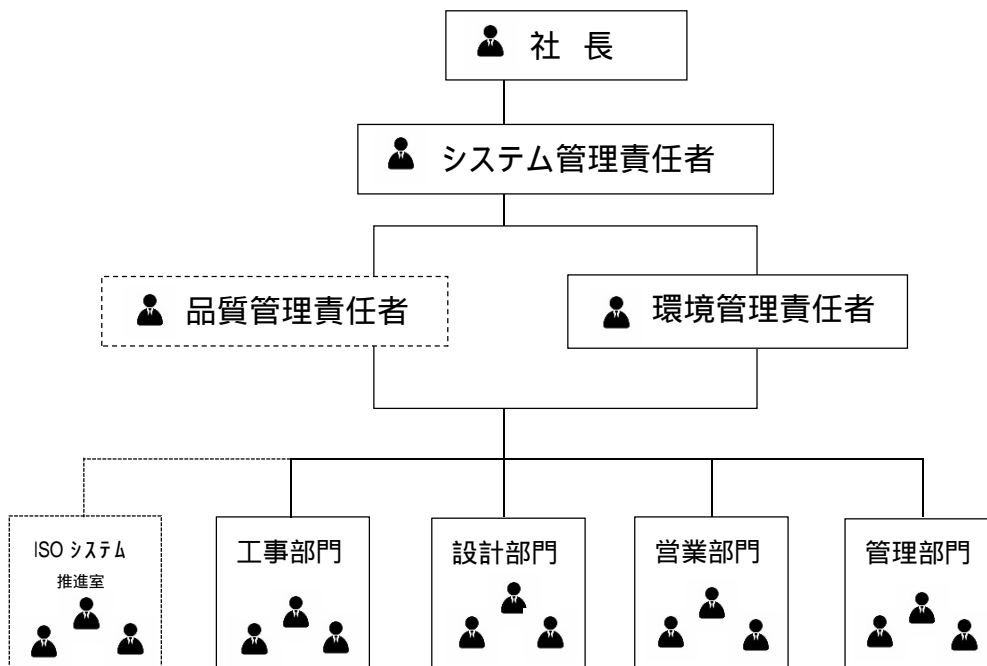
2. 企業概要 ・ 取り組み体制

企業概要

社 名 : 株式会社 新潟藤田組
 代表者 : 取締役社長 藤田 直也
 所在地 : 新潟県新潟市中央区白山浦2-645-1
 電 話 : 025-266-1166
 資本金 : 9,000万円
 従業員数 : 103名(平成31年4月現在)
 創 業 : 大正14年10月

環境活動の取り組み体制

当社は、下図の組織体制で環境マネジメントシステムを運用します。



3. 事業における環境活動

Plan (計画)

方針にもとづき以下の
目標に向かって取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
 - ②資源の節約
- 工事受注量を考慮した算出を行い、
昨年度以下にする。
- 美化活動の実施
美化活動の定例実施
法令遵守
環境法令遵守

Do (実行)

- 具体的な取り組み事項
- 二酸化炭素削減の取り組み
 - ・発電設備等
 - 太陽光発電設備の活用
 - ・空調設備・運用等
 - グリーンカーテンの実施
 - クールビズ・冷暖房のこまめなオンオフ・
 - 業務効率化による節電
 - 空調設定を温度湿度で管理する
 - 冷房 28 以上、暖房 21 以下(厳冬期 24 以下)
 - ドライ湿度 80%以上、風力(弱)での運用

Action (見直し)

見直し、改善を図ります。

- ①二酸化炭素排出量の削減
 - ②資源の節約
- 工事受注量を考慮した算出を行い、
昨年度以下にする。
- 美化活動
昨年同様に実施
法令遵守
昨年同様に違反等皆無にする

- ・照明設備・運用等
- 高効率照明設備の活用
- 単独スイッチの活用
- こまめな消灯・業務効率化による節電
- ・車両選定・運用等
- 低燃費車への入替
- ハイブリッド車でのガソリン使用量の削減
- アイドリングストップの実施
- 燃費向上運転の指導・心がけ
- 冷暖房の使用状況改善
- ・その他
- 啓発掲示物等の掲示
- 資源の節約への取り組み
- ・コピーFAXの運用等
- 両面印刷、裏面印刷によるコピー用紙の削減
- ミスコピー撲滅運動の実施
- 電子化・ペーパーレス化の推進
- ・その他
- 啓発掲示物等の掲示
- ・資源の有効活用等
- ゴミ完全分別実施
- 美化活動の実施
- ・本社周辺及びキング公園の日々のゴミ拾い、維持管理の実施
(冬期及び悪天候日を除く)
- 法令遵守への取り組み
- ・すべての作業所で環境法令を遵守する
- 施工前討論会での確認
- 担当者による遵守状況の確認
- 著しい環境側面への対策
- ・消火設備の点検管理と緊急時の対応・対策訓練実施

Check (点検)

- 目標と実績とを比較します
- 対象期間 30年3月1日～31年2月28日
- 二酸化炭素排出量
営業所近隣現場の工事関係者の営業所使用があり、
電力消費量が増加が増加した
前年度実績比 1,454kwh 増加
- ガソリン使用量
1Lあたりの走行距離は前年度実績と同じだった
- コピー用紙の使用量
使用枚数/完成工事高比で前年度実績より0.000022 減少
(使用枚数の減、完成工事高の増)
- 美化活動
美化活動の定例実施
実績:白山駅前・近隣公園のゴミ拾い、アダプト活動の実施
- 法令遵守
環境法令遵守の確認
実績:環境法会の違反等無し

4. CO²排出量チェックシート (70 期実績)

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・上越(営)・西蒲(営)

電気・ガソリン使用量

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
電気	69,065kwh	69,065kwh	70,519kwh	前期実績以下	1,454kwh 増加
ガソリン (社有車)	19.2km	19.2km	19.2km	前期実績より 向上	±0

1 ガソリン使用量については、1Lあたりの走行距離(全社平均)としている

その他環境に影響するもの

	前期	当期目標	当期実績	削減量目標	達成数値 (前期に対する当期実績)
コピー用紙 (A4 換算)	659,000 枚	659,000 枚	571,500 枚	前期実績以下	87,500 枚減少
	0.000157	2 0.000157	3 0.000135		0.000022 減少

2 完成工事高・使用枚数比 前年実績の 0.000157 以下にする。

前年実績 (0.000157) = 使用枚数 (659,000 枚) ÷ 完成工事高 (4,191 百万円)

3 当期実績 (0.000135) = 使用枚数 (571,500 枚) ÷ 完成工事高 (4,223 百万円)

5. 70 期年間成果

オフィス部門 本社・FBOX・下越(営)・中越(営)・上越(営)・西蒲(営)

電気・ガス・ガソリン

電気

前期より 1,454kwh 増。

70 期は営業所の工事関係者使用に伴う電力消費量の増加があったため通常使用の 69 期消費量(69,065kwh)以下を 71 期の目標とする。具体的な施策では、啓発掲示物の設置、高効率照明設備の導入、クールビズ・こまめな消灯・業務効率化による節電、太陽光発電の活用等を実施する。

ガソリン

1L あたりの走行距離(全社平均)は前期と同じ。

省エネ車への入替え、省エネ運転、アイドリングストップ活動の推進を行い燃費維持が出来た。数値目標とはしていないが、参考数値として引き続き全社にて取り組んでいく。

その他環境に影響するもの

コピー用紙

当期実績 0.000022 減(= 使用枚数÷完成工事高)。

完成工事高と使用枚数比で前期実績以下を目標とする。

具体的な施策では、ミスコピー撲滅運動、白紙裏紙の活用、電子化・ペーパーレス化の推進等。

- ・ ゴミの完全分別(本社)

本社分別実施 100%。

啓発掲示物等の設置。分別処理と対応するゴミ箱の明示等(可燃ごみ、不燃ごみ、再生紙、シュレッダー)。

- ・ 環境美化活動

本社周辺及びキング公園を清掃可能な天候の日には毎朝実施。

アダプトプログラムの実施等。